

追悼 井上萬二展

秀麗なる磁器の世界

開催中

2026年

2月28日(土)まで

十八親和アートギャラリーでは、現在、本年7月に逝去された井上萬二氏の追悼展を陶磁器展示室2において開催しております。

重要無形文化財「白磁」保持者である井上萬二氏は、比類なき技術と飽くなき探求心によって、長年にわたり現代工芸の世界において活躍しました。

本展で紹介する12点の作品は、いずれも、昭和期に旧親和銀行が収集したものです。凛とした白磁の造形美が伝わる《白磁彫文一輪生》《白磁線入筒型花器》のほか、淡く豊かな色合いを持つ青白磁の魅力が引き立つ《青白磁彫文面取花器》《青白磁線花器》、染付による優美な加飾と器形の美しさが一体となった《染付蝶文蓋物》《染付栗鼠文額皿》など、秀麗なる作品を展覧し、その功績を偲びます。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります



青白磁彫文面取花器▶



▲染付蝶文蓋物

井上 萬二(いのうえ・まんじ)1929~2025。佐賀県有田町の窯元に生まれたが、軍人を志して15歳で海軍予科練に進む。復員後、父親の勧めで柿右衛門窯に入門。十二代酒井田柿右衛門に磁器製法を、初代奥川忠右衛門にろくろ技術を学ぶ。1971年に井上萬二窯を開き、日本伝統工芸展などで発表を重ねたほか、文化交流としてドイツ、ハンガリー、モナコ、ポーランド、アメリカなどで個展を開催するなど国内外で活躍。1995年重要無形文化財「白磁」保持者(人間国宝)に認定。1997年紫綬褒章受章。2003年旭日中綬章受章。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

[開館時間] 10:00~16:00(入館は15:30まで)

[休館日] 日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分